



2026年8月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年10月15日

東

上場会社名 株式会社サイエンスアーツ

上場取引所

コード番号 4412

URL <https://buddycom.net>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平岡 竜太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 松田 拓也

(TEL) 03(6825)0619

定時株主総会開催予定日 2026年11月26日

配当支払開始予定日

2026年11月10日

有価証券報告書提出予定日 2026年11月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期の業績(2025年9月1日～2026年8月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	2,134	29.0	262	144.3	262	183.5	254	127.1
2025年8月期	1,654	39.7	107	—	92	—	112	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年8月期	31.42	30.95	16.6	11.6	12.3
2025年8月期	14.32	14.30	12.0	6.1	6.5

(参考) 持分法投資損益 2026年8月期 ー百万円 2025年8月期 ー百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期	2,459	1,669	67.9	205.84
2025年8月期	2,077	1,393	67.1	172.17

(参考) 自己資本 2026年8月期 1,669百万円 2025年8月期 1,393百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年8月期	413	△124	△17	1,846
2025年8月期	290	△26	753	1,574

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年8月期	—	0.00	—	1.00	1.00	8	3.2	0.5
2027年8月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00		6.3	

3. 2027年8月期の業績予想(2026年9月1日～2027年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,775	30.0	314	20.0	315	20.1	257	1.3	31.82

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 有 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期	8,230,000 株	2025年8月期	8,219,500 株
② 期末自己株式数	2026年8月期	117,088 株	2025年8月期	123,088 株
③ 期中平均株式数	2026年8月期	8,107,612 株	2025年8月期	7,835,951 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 財務諸表及び主な注記	6
(1) 貸借対照表	6
(2) 損益計算書	8
売上原価明細書	9
(3) 株主資本等変動計算書	10
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(会計上の見積りの変更)	12
(セグメント情報等)	13
(持分法損益等)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は「フロントラインワーカーに未来のDXを提供し、明るく笑顔で働ける社会の力となる」ことをミッションに掲げ、フロントラインワーカーをつなげる現場の音声・AIインフラとしてライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom（バディコム）」の開発・販売を行っております。

当事業年度において、当社はBuddycomの新機能・新サービス開発を目的とした開発投資を実施し、販売代理店経由での新規顧客獲得の推進、及び既存顧客への追加IDや上位プラン、オプションプランの販売促進を行いました。株式会社JVCケンウッドと共同開発しているIP無線機は、JVCケンウッドモデルを2026年6月末より販売を開始し、サイエンスアーツモデルは2027年8月期第3四半期会計期間での販売開始を目指して開発を行っております。またBuddycomへのAI機能の実装を進めることで、現場の会話を音声データ資産として活用できるようにし、現場のAIインフラへの転換を進めています。

このような取り組みの結果、売上高は順調に推移し、Buddycomの開発及び販売強化のための人員増加による人件費の増加、本社移転に伴って利用不能となる固定資産の耐用年数短縮による減価償却費の増加等により、販売費及び一般管理費も増加いたしました。

以上の結果、当事業年度における売上高は2,134,218千円（前年同期比29.0%増）、営業利益は262,002千円（前年同期比144.3%増）、経常利益は262,775千円（前年同期比183.5%増）、当期純利益は254,746千円（前年同期比127.1%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

（Buddycom事業）

Buddycom事業におきましては、マーケティング強化による知名度の向上、注力業界向け施策実施、代理店営業力の強化等により契約社数は増加し、当事業年度末の契約社数は1,892社（前事業年度末1,562社）となり、ARR※1は1,392,420千円（前事業年度末1,068,797千円）、当事業年度の解約率※2は0.46%（前事業年度0.42%）、NRR※3は117.5%（前事業年度118.0%）となりました。以上の結果、当事業年度における、Buddycom利用料売上が1,213,886千円（前年同期比33.6%増）、アクセサリ売上が913,701千円（前年同期比22.8%増）、オンプレミス等の新製品・サービスの売上が6,363千円となり、セグメント売上高は2,133,951千円（前年同期比29.1%増）、セグメント利益は261,782千円（前年同期比147.1%増）となりました。

- ※1 ARR：Annual Recurring Revenueの略称。各期末月におけるBuddycomのクラウド利用料、オンプレミスのサポート料を12倍にして算出。サポート料に係るARRは当事業年度末は1,443千円、前事業年度末は計上なし。
- ※2 解約率：Buddycom ID数の月次解約率。「当月の解約ID数÷前月の契約ID数の総数」で算出し、期中の平均を取った値で算出。
- ※3 NRR：Net Revenue Retentionの略称。既存顧客の売上継続率。「前期までに獲得した顧客の当期末月のストック売上÷前期末月のストック売上」で算出。

（その他）

ALTIBASE事業を「その他」に含めております。ALTIBASE事業については、積極的には展開しない方針であり、当事業年度におけるその他の売上高は266千円（前年同期比82.8%減）となり、セグメント利益は220千円（前年同期比83.3%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(総資産)

当事業年度末における総資産につきましては、前事業年度末に比べ381,748千円増加し、2,459,555千円（前事業年度末比18.4%増）となりました。

(流動資産)

当事業年度末における流動資産につきましては、前事業年度末に比べ304,371千円増加し、2,139,000千円（前事業年度末比16.6%増）となりました。

これは主に、現金及び預金の減少（前事業年度末比227,148千円減）はありましたが、商品の増加（前事業年度末比70,108千円増）、有価証券の増加（前事業年度末比499,147千円増）等によるものであります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産につきましては、前事業年度末に比べ77,376千円増加し、320,555千円（前事業年度末比31.8%増）となりました。

これは主に、有形固定資産の減少（前事業年度末比70,602千円減）はありましたが、敷金の差入による増加（前事業年度末比119,684千円増）等によるものであります。

(負債合計)

当事業年度末における負債合計につきましては、前事業年度末に比べ105,722千円増加し、789,557千円（前事業年度末比15.5%増）となりました。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債につきましては、前事業年度末に比べ164,768千円増加し、775,458千円（前事業年度末比27.0%増）となりました。

これは主に、買掛金の減少（前事業年度末比15,531千円減）、一年以内返済予定長期借入金の減少（前事業年度末比8,796千円減）等はありませんでしたが、前受収益の増加（前事業年度末比184,848千円増）、未払費用の増加（前事業年度末比17,511千円増）等によるものであります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債につきましては、前事業年度末に比べ59,045千円減少し、14,099千円（前事業年度末比80.7%減）となりました。

これは、資産除去債務の減少（前事業年度末比46,049千円減）、長期借入金の減少（前事業年度末比12,996千円減）によるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産につきましては、前事業年度末に比べ276,026千円増加し、1,669,998千円（前事業年度末比19.8%増）となりました。

これは主に、資本金の増加（前事業年度末比8,289千円増）、資本準備金の増加（前事業年度末比8,289千円増）、当期純利益計上による利益剰余金の増加（前事業年度末比254,746千円増）等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,846,272千円（前事業年度末比271,999千円増、17.3%増）となりました。また、当事業年度末における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において営業活動により獲得した資金は、413,183千円（前年同期は290,705千円の収入）となりました。

これは主に、前受収益の増加額184,848千円（前年同期は前受収益の増加額137,117千円）、税引前当期純利益262,775千円（前年同期は税引前当期純利益92,700千円）等の収入要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において投資活動により支出した資金は、124,098千円（前年同期は26,883千円の支出）となりました。

これは、敷金の差入による支出119,684千円（前年同期は敷金の差入による支出7,943千円）、有形固定資産の取得による支出4,413千円（前年同期は有形固定資産の取得による支出18,939千円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において財務活動により支出した資金は、17,092千円（前年同期は753,104千円の収入）となりました。

これは、自己株式の処分による収入4,700千円（前年同期は自己株式の処分による収入7,700千円）、長期借入金の返済による支出21,792千円（前年同期は長期借入金の返済による支出21,792千円）によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社は中長期計画として2030年8月期に売上高60億円、営業利益18億円を目標としております。本計画の達成に向け、新機能・新サービスの開発と新規顧客獲得を目的とした先行投資は継続しますが、先行投資を含む販管費は売上成長率の範囲内で増加していくことを見込んでおり、売上高の高い成長率を継続させるとともに、利益を生み出せる体制の構築を進めてまいります。

上記計画に基づき、2027年8月期においては従来のBuddycomとアクセサリーだけでなく、IP無線機やオンプレミスのBuddycom、コール機能など新機能・新サービスによって、新規顧客獲得と既存顧客での単価向上を進めることで、売上高の高い成長率を継続します。販売費及び一般管理費につきましては、引き続きBuddycomの開発及び販売強化のための人員採用を継続するための人件費及び採用費、知名度向上のための広告宣伝費等を中心として増加することを見込んでおります。また、本社移転に伴った移転関連費用の一時的な増加と、地代家賃や減価償却費の増加も見込んでおります。

以上の結果、2027年8月期の売上高は2,775,110千円（前年同期比30.0%増）、営業利益は314,275千円（前年同期比20.0%増）、経常利益は315,475千円（前年同期比20.1%増）、当期純利益は257,977千円（前年同期比1.3%増）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準を採用することとしておりますが、将来的なIFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年8月31日)	当事業年度 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,579,273	1,352,124
売掛金	151,513	116,984
有価証券	—	499,147
商品	60,042	130,151
貯蔵品	8	25
前払費用	43,735	38,572
その他	54	1,994
流動資産合計	1,834,628	2,139,000
固定資産		
有形固定資産		
建物	99,554	53,936
減価償却累計額	△23,790	△37,654
建物（純額）	75,764	16,282
車両運搬具	10,905	10,905
減価償却累計額	△3,007	△5,312
車両運搬具（純額）	7,898	5,592
工具、器具及び備品	35,606	39,263
減価償却累計額	△12,585	△25,057
工具、器具及び備品（純額）	23,021	14,205
土地	3,007	3,007
有形固定資産合計	109,690	39,088
投資その他の資産		
投資有価証券	10,000	10,000
長期前払費用	2,040	1,919
敷金	69,717	189,402
繰延税金資産	33,820	62,396
その他	17,908	17,748
投資その他の資産合計	133,487	281,467
固定資産合計	243,178	320,555
資産合計	2,077,806	2,459,555

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年8月31日)	当事業年度 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,193	24,661
1年内返済予定の長期借入金	40,137	31,341
未払金	36,869	33,680
未払費用	39,292	56,803
未払法人税等	36,663	36,327
未払消費税等	37,755	31,228
預り金	9,225	5,903
前受収益	370,552	555,400
その他	—	109
流動負債合計	610,690	775,458
固定負債		
長期借入金	27,095	14,099
資産除去債務	46,049	—
固定負債合計	73,144	14,099
負債合計	683,834	789,557
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,894	459,183
資本剰余金		
資本準備金	400,894	409,183
その他資本剰余金	787,247	791,777
資本剰余金合計	1,188,141	1,200,961
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△241,584	13,161
利益剰余金合計	△241,584	13,161
自己株式	△3,479	△3,309
株主資本合計	1,393,972	1,669,998
純資産合計	1,393,972	1,669,998
負債純資産合計	2,077,806	2,459,555

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当事業年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
売上高	1,654,620	2,134,218
売上原価	644,625	784,800
売上総利益	1,009,995	1,349,417
販売費及び一般管理費	902,739	1,087,414
営業利益	107,256	262,002
営業外収益		
受取利息	1,942	3,609
有価証券利息	—	1,426
その他	112	97
営業外収益合計	2,054	5,134
営業外費用		
支払利息	1,667	1,325
為替差損	738	2,729
株式交付費	14,011	—
その他	193	305
営業外費用合計	16,610	4,361
経常利益	92,700	262,775
税引前当期純利益	92,700	262,775
法人税、住民税及び事業税	21,078	36,605
法人税等調整額	△40,551	△28,575
法人税等合計	△19,472	8,029
当期純利益	112,172	254,746

売上原価明細書

		前事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)		当事業年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)	
区分	注記 番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 商品仕入等	※1	463,540	70.7	651,211	74.6
II 労務費		35,568	5.4	44,469	5.1
III 経費		156,785	23.9	177,354	20.3
小計		655,894	100.0	873,036	100.0
商品期首棚卸高		65,492		60,042	
合計	※2	721,386		933,078	
商品期末棚卸高		60,042		130,151	
他勘定振替高		16,718		18,126	
当期売上原価		644,625		784,800	

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
サーバー費用	85,500	92,445
支払手数料	59,716	70,822
地代家賃	4,318	5,488
減価償却費	1,185	2,882

※2 他勘定振替高の内容は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
販売促進費 (販売費及び一般管理費)	16,718	18,126

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、個別原価計算による実際原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計			
					繰越利益 剰余金				
当期首残高	52, 121	2, 121	779, 830	781, 951	△353, 756	△353, 756	△3, 750	476, 565	476, 565
当期変動額									
新株の発行（第 三者割当増資）	390, 610	390, 610		390, 610				781, 220	781, 220
新株の発行（譲渡 制限付株式報酬）	8, 162	8, 162		8, 162				16, 325	16, 325
当期純利益					112, 172	112, 172		112, 172	112, 172
自己株式の処分			7, 417	7, 417			282	7, 700	7, 700
自己株式の取得							△11	△11	△11
当期変動額合計	398, 772	398, 772	7, 417	406, 189	112, 172	112, 172	271	917, 406	917, 406
当期末残高	450, 894	400, 894	787, 247	1, 188, 141	△241, 584	△241, 584	△3, 479	1, 393, 972	1, 393, 972

(注) 2024年10月31日を払込期日とする第三者割当増資による新株式1,474,000株(発行価額1株につき530円)の発行により、資本金及び資本準備金はそれぞれ390,610千円増加しております。

当事業年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計			
					繰越利益 剰余金				
当期首残高	450,894	400,894	787,247	1,188,141	△241,584	△241,584	△3,479	1,393,972	1,393,972
当期変動額									
新株の発行（譲渡 制限付株式報酬）	8,289	8,289		8,289				16,579	16,579
当期純利益					254,746	254,746		254,746	254,746
自己株式の処分			4,530	4,530			169	4,700	4,700
当期変動額合計	8,289	8,289	4,530	12,820	254,746	254,746	169	276,026	276,026
当期末残高	459,183	409,183	791,777	1,200,961	13,161	13,161	△3,309	1,669,998	1,669,998

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当事業年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	92,700	262,775
減価償却費	15,884	28,641
受取利息及び受取配当金	△1,942	△3,609
有価証券利息	—	△1,426
為替差損益 (△は益)	△1	△6
支払利息	1,667	1,325
株式交付費	14,011	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△50,145	34,528
棚卸資産の増減額 (△は増加)	5,448	△70,125
前払費用の増減額 (△は増加)	△3,788	21,848
仕入債務の増減額 (△は減少)	32,890	△15,531
未払金の増減額 (△は減少)	1,842	△2,863
未払費用の増減額 (△は減少)	8,896	17,511
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	15,540	3,056
前受収益の増減額 (△は減少)	137,117	184,848
預り金の増減額 (△は減少)	2,909	△3,321
未払消費税等の増減額 (△は減少)	17,536	△6,527
その他	334	△1,449
小計	290,904	449,673
利息及び配当金の受取額	1,942	5,036
利息の支払額	△1,654	△1,310
法人税等の支払額	△485	△40,216
営業活動によるキャッシュ・フロー	290,705	413,183
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,939	△4,413
敷金の差入による支出	△7,943	△119,684
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,883	△124,098
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	—
短期借入金の返済による支出	△50,000	—
長期借入金の返済による支出	△21,792	△21,792
株式の発行による収入	767,208	—
自己株式の取得による支出	△11	—
自己株式の処分による収入	7,700	4,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	753,104	△17,092
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,016,928	271,999
現金及び現金同等物の期首残高	557,344	1,574,273
現金及び現金同等物の期末残高	1,574,273	1,846,272

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

当事業年度において、本社を移転することに伴って利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。また、移転前の本社の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務については、居抜き引渡しにより原状回復義務が免除となることから、見積りの変更を行っております。

これらの変更により、従来の方法に比べて、当事業年度の営業利益、経常利益及び税引前当期純利益は11,883千円減少しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主たる事業であるBuddycom事業の売上高が、全体の90%以上を占めております。

従って、当社は「Buddycom事業」単一の報告セグメントとしております。

(2) 報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「Buddycom事業」は、フロントラインワーカーをつなげる現場の音声・AIインフラとしてのライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」の開発及び販売、イヤホンマイクやヘッドセットなどのアクセサリの販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

報告セグメントに帰属しない固定資産については全社資産として管理しておりますが、減価償却費につきましては、関係する事業セグメントの利用状況等を総合的に勘案して配賦基準を算定しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸表 計上額 (注) 3
	Buddycom 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	1,653,070	1,653,070	1,550	1,654,620	—	1,654,620
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,653,070	1,653,070	1,550	1,654,620	—	1,654,620
セグメント利益	105,937	105,937	1,318	107,256	—	107,256
セグメント資産	224,925	224,925	17	224,943	1,852,863	2,077,806
その他の項目						
減価償却費	15,870	15,870	14	15,884	—	15,884
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	—	—	—	—	16,857	16,857

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ALTIBASE事業になります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは運用資金（現金及び預金）及び管理部門等に係る資産等であります。

3. セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当事業年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸表 計上額 (注) 3
	Buddycom 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	2,133,951	2,133,951	266	2,134,218	—	2,134,218
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,133,951	2,133,951	266	2,134,218	—	2,134,218
セグメント利益	261,782	261,782	220	262,002	—	262,002
セグメント資産	261,070	261,070	9	261,079	2,198,475	2,459,555
その他の項目						
減価償却費	28,636	28,636	4	28,641	—	28,641
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	—	—	—	—	4,088	4,088

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ALTIBASE事業になります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは運用資金（現金及び預金）及び管理部門等に係る資産等であります。

3. セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当事業年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり純資産額	172.17円	205.84円
1株当たり当期純利益	14.32円	31.42円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	14.30円	30.95円

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当事業年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
(1) 1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
当期純利益(千円)	112,172	254,746
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	112,172	254,746
普通株式の期中平均株式数(株)	7,835,951	8,107,612
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	10,040	122,055
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2025年8月31日)	当事業年度 (2026年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,393,972	1,669,998
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,393,972	1,669,998
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	8,096,412	8,112,912

(重要な後発事象)

該当事項はありません。